

(再評価)

資料3-1-②

令和2年度第6回  
関東地方整備局  
事業評価監視委員会

一般国道468号  
首都圏中央連絡自動車道  
(大栄～横芝)

令和3年1月18日

国土交通省 関東地方整備局  
東日本高速道路株式会社

## 費用便益分析の結果

様式－2

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道468号	首都圏中央連絡自動車道（大栄～横芝）	L = 18.5km	高規格B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
16,100～23,400	4	関東地方整備局 東日本高速道路(株)

### ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	1,370億円	636億円	2,006億円
うち残事業分	972億円	636億円	1,609億円
基準年における 現在価値（C）	1,250億円	192億円	1,442億円
うち残事業分	813億円	192億円	1,005億円

### ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和12年度			
単年便益 (初年便益)	104億円	9.2億円	3.8億円	117億円
基準年における 現在価値（B）	1,427億円	124億円	51億円	1,602億円
うち残事業分	1,427億円	124億円	51億円	1,602億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.1
経済的純現在価値（事業全体）	160億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.5%
費用便益比（残事業）	1.6
経済的純現在価値（残事業）	597億円
経済的内部収益率（残事業）	7.1%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	16,100～23,400	±10%	1.00～1.2
事業費	1,370億円	±10%	1.1～1.2
事業期間	29年	±20%	1.02～1.2

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	16,100～23,400	±10%	1.4～1.8
事業費	972億円	±10%	1.5～1.7
事業期間	9年	±20%	1.5～1.7

交通状況の変化

事業名：首都圏中央連絡自動車道（大栄～横芝）（事業全体・残事業）

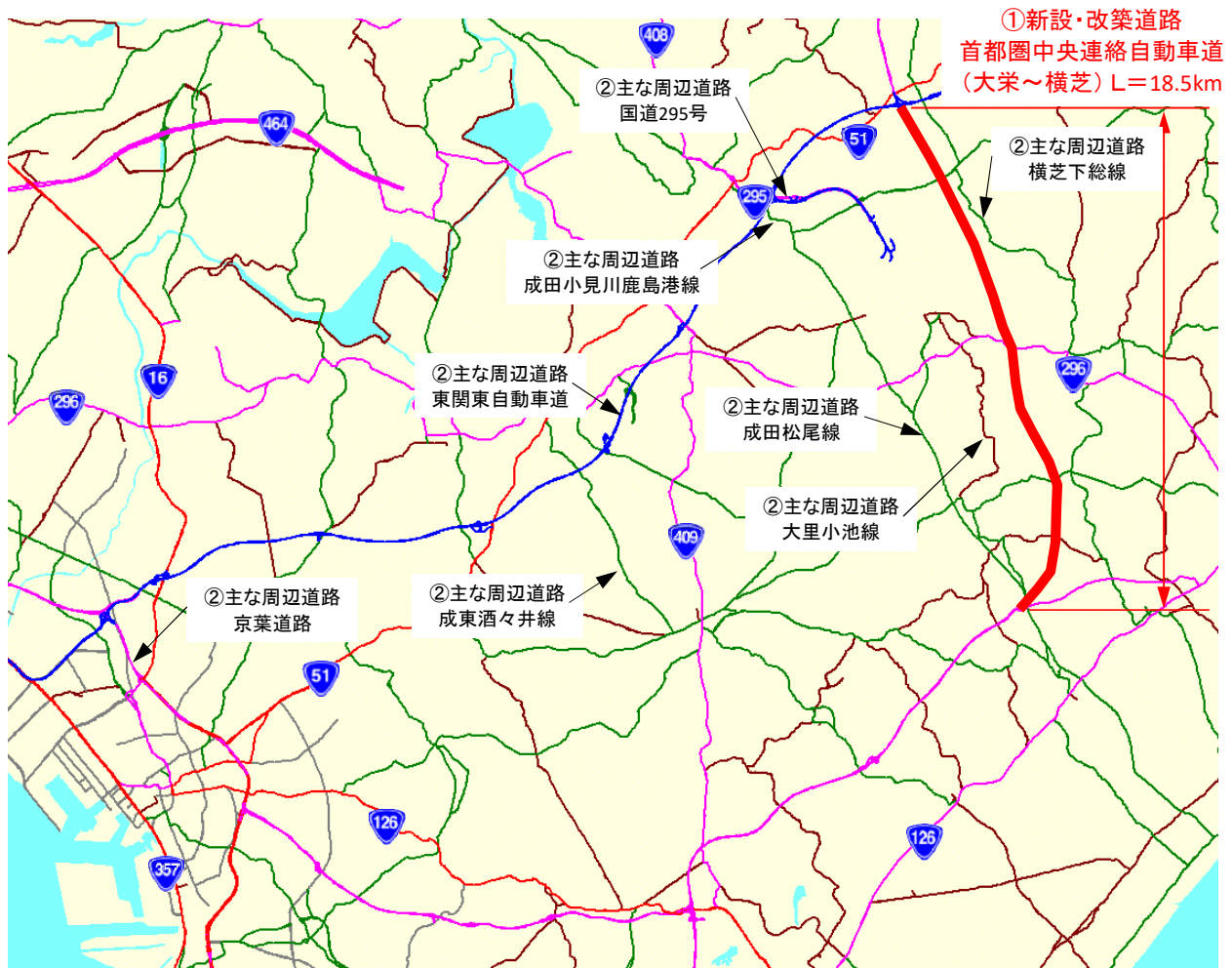
（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 首都圏中央連絡自動車道(大栄～横芝):18.5km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	-	18,900	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	-	12	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	-	45.14	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	東関東自動車道：34.0km	交通量	[台/日]	68,600	66,500
		走行時間	[分]	25	25
		走行時間費用	[億円/年]	347.58	333.40
	国道14号・16号(京葉道路)：13.6km	交通量	[台/日]	77,900	73,800
		走行時間	[分]	14	14
		走行時間費用	[億円/年]	230.85	214.27
	成田松尾線：34.6km	交通量	[台/日]	10,300	9,000
		走行時間	[分]	57	54
		走行時間費用	[億円/年]	111.53	91.42
	横芝下総線：32.8km	交通量	[台/日]	3,900	3,100
		走行時間	[分]	56	56
		走行時間費用	[億円/年]	41.14	33.09
	成東酒々井線：17.9km	交通量	[台/日]	11,800	11,100
		走行時間	[分]	30	30
		走行時間費用	[億円/年]	66.38	61.37
	成田小見川鹿島港線：23.6km	交通量	[台/日]	11,000	10,400
		走行時間	[分]	38	37
		走行時間費用	[億円/年]	82.19	76.83
	大里小池線：8.5km	交通量	[台/日]	5,900	4,100
		走行時間	[分]	13	13
		走行時間費用	[億円/年]	14.98	10.24
	国道295号：5.9km	交通量	[台/日]	39,700	37,100
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	67.87	60.88
③その他道路合計：7210.2km	走行時間費用	[億円/年]	25,100.03	25,031.51	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：7399.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	26,062.55	25,958.15	104.40

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



## 費用便益分析の条件

事業名：首都圏中央連絡自動車道（大栄～横芝）

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和2年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
その他( )	<input type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		( ) %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				





## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:首都圏中央連絡自動車道(大栄～横芝)(事業全体)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)	
				—	18.5	—	
-29年目	H 13	2.1068	112.4	0.99	1.91		
-28年目	H 14	2.0258	110.5	2.34	4.42		
-27年目	H 15	1.9479	109.0	3.63	6.67		
-26年目	H 16	1.8730	107.9	4.80	8.57		
-25年目	H 17	1.8009	106.7	2.73	4.74		
-24年目	H 18	1.7317	105.9	4.29	7.20		
-23年目	H 19	1.6651	105.0	3.92	6.40		
-22年目	H 20	1.6010	104.4	4.60	7.25		
-21年目	H 21	1.5395	103.0	0.31	0.47		
-20年目	H 22	1.4802	101.3	1.81	2.72		
-19年目	H 23	1.4233	99.8	0.14	0.21		
-18年目	H 24	1.3686	99.0	0.95	1.35		
-17年目	H 25	1.3159	99.0	14.35	19.61		
-16年目	H 26	1.2653	101.5	15.76	20.19		
-15年目	H 27	1.2167	103.0	24.02	29.16		
-14年目	H 28	1.1699	102.8	45.52	53.25		
-13年目	H 29	1.1249	102.9	32.40	36.41		
-12年目	H 30	1.0816	102.8	22.90	24.77		
-11年目	R 1	1.0400	102.8	56.75	59.02		
-10年目	R 2	1.0000	102.8	155.66	155.66		
-9年目	R 3	0.9615	102.8	24.52	23.58		
-8年目	R 4	0.9246	102.8	20.07	18.55		
-7年目	R 5	0.8890	102.8	337.43	299.97		
-6年目	R 6	0.8548	102.8	334.73	286.12		
-5年目	R 7	0.8219	102.8	6.05	4.97		
-4年目	R 8	0.7903	102.8	7.35	5.81		
-3年目	R 9	0.7599	102.8	16.83	12.79		
-2年目	R 10	0.7307	102.8	89.95	65.72		
-1年目	R 11	0.7026	102.8	135.42	95.14		
供用開始年次	R 12	0.6756	102.8			12.76	8.62
1年目	R 13	0.6496	102.8			12.75	8.28
2年目	R 14	0.6246	102.8			12.75	7.96
3年目	R 15	0.6006	102.8			12.75	7.66
4年目	R 16	0.5775	102.8			12.75	7.36
5年目	R 17	0.5553	102.8			12.75	7.08
6年目	R 18	0.5339	102.8			12.74	6.80
7年目	R 19	0.5134	102.8			12.74	6.54
8年目	R 20	0.4936	102.8			12.74	6.29
9年目	R 21	0.4746	102.8			12.74	6.05
10年目	R 22	0.4564	102.8			12.74	5.81
11年目	R 23	0.4388	102.8			12.73	5.59
12年目	R 24	0.4220	102.8			12.73	5.37
13年目	R 25	0.4057	102.8			12.73	5.16
14年目	R 26	0.3901	102.8			12.73	4.97
15年目	R 27	0.3751	102.8			12.73	4.77
16年目	R 28	0.3607	102.8			12.72	4.59
17年目	R 29	0.3468	102.8			12.72	4.41
18年目	R 30	0.3335	102.8			12.72	4.24
19年目	R 31	0.3207	102.8			12.72	4.08
20年目	R 32	0.3083	102.8			12.72	3.92
21年目	R 33	0.2965	102.8			12.72	3.77
22年目	R 34	0.2851	102.8			12.72	3.63
23年目	R 35	0.2741	102.8			12.72	3.49
24年目	R 36	0.2636	102.8			12.72	3.35
25年目	R 37	0.2534	102.8			12.72	3.22
26年目	R 38	0.2437	102.8			12.72	3.10
27年目	R 39	0.2343	102.8			12.72	2.98
28年目	R 40	0.2253	102.8			12.72	2.87
29年目	R 41	0.2166	102.8			12.72	2.75
30年目	R 42	0.2083	102.8			12.72	2.65
31年目	R 43	0.2003	102.8			12.72	2.55
32年目	R 44	0.1926	102.8			12.72	2.45
33年目	R 45	0.1852	102.8			12.72	2.36
34年目	R 46	0.1780	102.8			12.72	2.26
35年目	R 47	0.1712	102.8			12.72	2.18
36年目	R 48	0.1646	102.8			12.72	2.09
37年目	R 49	0.1583	102.8			12.72	2.01
38年目	R 50	0.1522	102.8			12.72	1.94
39年目	R 51	0.1463	102.8			12.72	1.86
40年目	R 52	0.1407	102.8			12.72	1.79
41年目	R 53	0.1353	102.8			12.72	1.72
42年目	R 54	0.1301	102.8			12.72	1.65
43年目	R 55	0.1251	102.8			12.72	1.59
44年目	R 56	0.1203	102.8			12.72	1.53
45年目	R 57	0.1157	102.8			12.72	1.47
46年目	R 58	0.1112	102.8			12.72	1.41
47年目	R 59	0.1069	102.8			12.72	1.36
48年目	R 60	0.1028	102.8			12.72	1.31
49年目	R 61	0.0989	102.8	-131.60	-13.01	12.72	1.26
合計				1238.60	1249.63	636.30	192.17
単純事業費計				1370.20		636.30	

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:首都圏中央連絡自動車道(大栄～横芝)(残事業)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
						18.5	
-29年目	H 13	2.1068	112.4				
-28年目	H 14	2.0258	110.5				
-27年目	H 15	1.9479	109.0				
-26年目	H 16	1.8730	107.9				
-25年目	H 17	1.8009	106.7				
-24年目	H 18	1.7317	105.9				
-23年目	H 19	1.6651	105.0				
-22年目	H 20	1.6010	104.4				
-21年目	H 21	1.5395	103.0				
-20年目	H 22	1.4802	101.3				
-19年目	H 23	1.4233	99.8				
-18年目	H 24	1.3686	99.0				
-17年目	H 25	1.3159	99.0				
-16年目	H 26	1.2653	101.5				
-15年目	H 27	1.2167	103.0				
-14年目	H 28	1.1699	102.8				
-13年目	H 29	1.1249	102.9				
-12年目	H 30	1.0816	102.8				
-11年目	R 1	1.0400	102.8				
-10年目	R 2	1.0000	102.8				
-9年目	R 3	0.9615	102.8	24.52	23.58		
-8年目	R 4	0.9246	102.8	20.07	18.55		
-7年目	R 5	0.8890	102.8	337.43	299.97		
-6年目	R 6	0.8548	102.8	334.73	286.12		
-5年目	R 7	0.8219	102.8	6.05	4.97		
-4年目	R 8	0.7903	102.8	7.35	5.81		
-3年目	R 9	0.7599	102.8	16.83	12.79		
-2年目	R 10	0.7307	102.8	89.95	65.72		
-1年目	R 11	0.7026	102.8	135.42	95.14		
供用開始年次	R 12	0.6756	102.8			12.76	8.62
1年目	R 13	0.6496	102.8			12.75	8.28
2年目	R 14	0.6246	102.8			12.75	7.96
3年目	R 15	0.6006	102.8			12.75	7.66
4年目	R 16	0.5775	102.8			12.75	7.36
5年目	R 17	0.5553	102.8			12.75	7.08
6年目	R 18	0.5339	102.8			12.74	6.80
7年目	R 19	0.5134	102.8			12.74	6.54
8年目	R 20	0.4936	102.8			12.74	6.29
9年目	R 21	0.4746	102.8			12.74	6.05
10年目	R 22	0.4564	102.8			12.74	5.81
11年目	R 23	0.4388	102.8			12.73	5.59
12年目	R 24	0.4220	102.8			12.73	5.37
13年目	R 25	0.4057	102.8			12.73	5.16
14年目	R 26	0.3901	102.8			12.73	4.97
15年目	R 27	0.3751	102.8			12.73	4.77
16年目	R 28	0.3607	102.8			12.72	4.59
17年目	R 29	0.3468	102.8			12.72	4.41
18年目	R 30	0.3335	102.8			12.72	4.24
19年目	R 31	0.3207	102.8			12.72	4.08
20年目	R 32	0.3083	102.8			12.72	3.92
21年目	R 33	0.2965	102.8			12.72	3.77
22年目	R 34	0.2851	102.8			12.72	3.63
23年目	R 35	0.2741	102.8			12.72	3.49
24年目	R 36	0.2636	102.8			12.72	3.35
25年目	R 37	0.2534	102.8			12.72	3.22
26年目	R 38	0.2437	102.8			12.72	3.10
27年目	R 39	0.2343	102.8			12.72	2.98
28年目	R 40	0.2253	102.8			12.72	2.87
29年目	R 41	0.2166	102.8			12.72	2.75
30年目	R 42	0.2083	102.8			12.72	2.65
31年目	R 43	0.2003	102.8			12.72	2.55
32年目	R 44	0.1926	102.8			12.72	2.45
33年目	R 45	0.1852	102.8			12.72	2.36
34年目	R 46	0.1780	102.8			12.72	2.26
35年目	R 47	0.1712	102.8			12.72	2.18
36年目	R 48	0.1646	102.8			12.72	2.09
37年目	R 49	0.1583	102.8			12.72	2.01
38年目	R 50	0.1522	102.8			12.72	1.94
39年目	R 51	0.1463	102.8			12.72	1.86
40年目	R 52	0.1407	102.8			12.72	1.79
41年目	R 53	0.1353	102.8			12.72	1.72
42年目	R 54	0.1301	102.8			12.72	1.65
43年目	R 55	0.1251	102.8			12.72	1.59
44年目	R 56	0.1203	102.8			12.72	1.53
45年目	R 57	0.1157	102.8			12.72	1.47
46年目	R 58	0.1112	102.8			12.72	1.41
47年目	R 59	0.1069	102.8			12.72	1.36
48年目	R 60	0.1028	102.8			12.72	1.31
49年目	R 61	0.0989	102.8	-1.60	-0.16	12.72	1.26
合計				970.73	812.50	636.30	192.17
単純事業費計				972.33		636.30	

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。



路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道468号	首都圏中央連絡自動車道 (大栄～横芝)	4	L=18.5km

■維持管理費内訳(事業全体・残事業)

	金額 (百万円/年)	備考
令和12年度	1,276	
令和13年度	1,275	
令和14年度	1,275	
令和15年度	1,275	
令和16年度	1,275	
令和17年度	1,275	
令和18年度	1,274	
令和19年度	1,274	
令和20年度	1,274	
令和21年度	1,274	
令和22年度	1,274	
令和23年度	1,273	
令和24年度	1,273	
令和25年度	1,273	
令和26年度	1,273	
令和27年度	1,273	
令和28年度	1,272	
令和29年度	1,272	
令和30年度	1,272	
令和31年度	1,272	
令和32年度	1,272	
令和33年度	1,272	
令和34年度	1,272	
令和35年度	1,272	
令和36年度	1,272	
令和37年度	1,272	
令和38年度	1,272	
令和39年度	1,272	
令和40年度	1,272	
令和41年度	1,272	
令和42年度	1,272	
令和43年度	1,272	
令和44年度	1,272	
令和45年度	1,272	
令和46年度	1,272	
令和47年度	1,272	
令和48年度	1,272	
令和49年度	1,272	
令和50年度	1,272	
令和51年度	1,272	
令和52年度	1,272	
令和53年度	1,272	
令和54年度	1,272	
令和55年度	1,272	
令和56年度	1,272	
令和57年度	1,272	
令和58年度	1,272	
令和59年度	1,272	
令和60年度	1,272	
令和61年度	1,272	

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道468号	首都圏中央連絡自動車道 (大栄～横芝)	4	L=18.5km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					109,401	
	改良費				55,726	
		土工	m <sup>3</sup>	4,326,266	32,900	
		軟弱地盤改良工	式	1	5,017	サンドドレーン、DJM
		法面工	m <sup>2</sup>	398,881	1,196	切土法面、盛土法面、法枠工
		擁壁工	m <sup>2</sup>	30,855	959	補強土壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	785	307	
		函渠工	基	33	2,751	
		排水工	m	17,706	2,843	
		中央分離帯工	m	14,828	720	
		雑工	式	1	9,033	機能補償道路、植栽工、調整池工等
	橋梁費				19,395	
		100m以上	m	1,705	14,383	
		100m未満	m	939	5,011	
	トンネル費				11,690	
		NATM	m	1,248	11,690	2本(上下線)
		シールド	m	—		
	IC・JCT費				11,222	
		IC	箇所	3	7,031	ダイヤモンド型(2)、立体Y型(1)
		JCT	箇所	1	4,191	
	舗装費				4,437	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	350,230	4,437	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	—	0	
	付帯施設費				6,931	
		交通管理施設工	式	1	4,527	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁工	m	14,500	2,404	
②用地及補償費					18,747	
	用地費		m <sup>2</sup>	1,185,148	13,159	
		宅地	m <sup>2</sup>	41,631	958	
		田畑	m <sup>2</sup>	591,366	7,222	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	549,596	4,946	
		その他	m <sup>2</sup>	2,555	33	
	補償費		式	1	5,588	
③間接経費			式	1	20,852	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					149,000	

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道468号	首都圏中央連絡自動車道 (大栄～横芝)	4	L=18.5km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	残金額 (百万円)	備考
①工事費					93,880	
改良費					40,205	
	土工		m <sup>3</sup>	2,886,486	21,360	
	軟弱地盤改良工		式	1	4,189	サンドドレーン、DJM
	法面工		m <sup>2</sup>	398,881	1,196	切土法面、盛土法面、法枠工
	擁壁工		m <sup>2</sup>	30,855	959	補強土壁、ブロック積擁壁等
	管渠工		m	745	203	
	函渠工		基	30	2,502	
	排水工		m	17,706	2,843	
	中央分離帯工		m	14,828	720	
	雑工		式	1	6,233	機能補償道路、植栽工、調整池工等
橋梁費					19,395	
	100m以上		m	1,705	14,383	
	100m未満		m	939	5,011	
トンネル費					11,690	
	NATM		m	1,248	11,690	2本(上下線)
	シールド		m	—		
IC・JCT費					11,222	
	IC		箇所	3	7,031	ダイヤモンド型(2)、立体Y型(1)
	JCT		箇所	1	4,191	
舗装費					4,437	
	車道舗装		m <sup>2</sup>	350,230	4,437	
	歩道舗装		m <sup>2</sup>	—	0	
付帯施設費					6,931	
	交通管理施設工		式	1	4,527	標識工、防護柵工、道路照明等
	遮音壁工		m	14,500	2,404	
②用地及補償費					1,208	
用地費			m <sup>2</sup>	82,572	160	
	宅地		m <sup>2</sup>	4,349	6	
	田畑		m <sup>2</sup>	37,192	79	
	山林・原野		m <sup>2</sup>	37,907	74	
	その他		m <sup>2</sup>	3,124	1	
補償費			式	1	1,048	
③間接経費						
			式	1	11,852	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					106,940	

県土政第1271号  
令和3年1月8日

国土交通省関東地方整備局長 様

千葉県知事 鈴木 栄治  
( 公 印 省 略 )

関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針  
(原案)の作成に係る意見照会について (回答)

令和3年1月7日付け国関整企画第163号、166号で照会のありました  
標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。

担当 (窓口)

千葉県 県土整備政策課 政策室

電話 043-223-3378

FAX 043-227-0139

メール [kendo2@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:kendo2@mz.pref.chiba.lg.jp)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」 案※	千葉県知事の意見
一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道(大栄～横芝)	継続	<p>圏央道は、アクアラインと一体となって、首都圏の各都市と成田空港などの拠点間を環状につなぎ、国際競争力の強化や地域経済の活性化を図り、災害時の道路ネットワークを強化する極めて重要な道路である。</p> <p>圏央道沿線地域における観光入込客数の増加や輸送時間の短縮など、経済に好循環をもたらすストック効果が現れている。</p> <p>こうした効果を県内全域に波及させるためにも、唯一の未開通区間である大栄・横芝間の一日も早い開通が必要である。</p> <p>については、事業の継続が必要であり、開通目標の令和6年度に確実に開通するよう、事業の推進を図られたい。</p> <p>事業費については、県の負担増とならないよう有料道路事業を活用するとともに、引き続き、コスト縮減を図りながら、効率的に事業を実施されたい。</p>

※貴職の意見を踏まえ、関東地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。